

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2004-30687(P2004-30687A)
【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2003-291242(P2003-291242)
【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 3/12

B 4 1 J 29/38

【F I】

G 0 6 F 3/12 K

G 0 6 F 3/12 A

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月25日(2005.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像又は文字データと該画像又は文字データに対する固有のジョブ番号とを対応付けて蓄積したホストコンピュータと接続可能なプリンタにおいて、該プリンタは、入力操作を行うための入力操作手段と、該入力操作手段に入力されたジョブ番号に応じた画像又は文字データの出力を前記ホストコンピュータに指示する出力指示手段と、該出力指示手段による指示情報に応じて前記ホストコンピュータから出力された画像又は文字データを受信する受信手段とを有し、該受信手段により受信した画像又は文字データを印刷出力できるようにしたことを特徴とするプリンタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プリンタ

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、印字出力可能なネットワークシステムに関し、より詳細には、ネットワークシステム上においてプリント出力するためのプリンタに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、ユーザはネットワーク内の1ヶ所のプリンタを常に使用するわけではなく、自分自身の移動先のプリンタからや電子メールの送信者から印刷物の供給を受けたい状況も発生する。また、印刷命令と同時にネットワークに接続された複数のプリンタから印刷出力をしてしまうと出力用紙のセキュリティが確保できない。本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、かかる従来の不具合点を解決し、操作性と機密保持性を兼ね備えた使用効率の良いプリンタを提供することをその解決すべき課題とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によると、複数の接続されたプリンタのうち、任意のプリンタの操作パネルからジョブ番号を入力することで印字出力できるようにすることにより、取り扱い易いプリンタを提供できる。